

県農業会議と県JAグループ

「高温障害対策を」

知事に要請書を提出

県農業会議と県JAグループは30日、県の2026



江崎慎英知事に意見書を手渡す県農業会議の岩井豊太郎会長(左)＝県庁



江崎慎英知事(中央)に要請書を手渡した櫻井宏JA岐阜中央会会長(左から3人目)＝同

年度予算編成に向けて、農業施策に関する意見書や要請書を江崎慎英知事にそれぞれ提出した。担い手の育成や資材高騰、高温障害に対する支援などを求めた。

県農業会議は▽人材育成▽「ぎふの食」づくり▽農畜水産物のブランド展開▽地域資源を生かした農村づくりの4項目を掲げた意見書を提出した。

県庁を訪れた会長の岩井豊太郎県議は「若い人にとって魅力ある農業にしないとけない。学校での農業教育も取り入れてほしい」と求めた。

JAグループは▽十分な農業関係予算の確保▽新たな農政の基本計画における県農畜産物の安定供給の支援▽高温障害など異常気象対策の強化▽生産資材価格

高騰・高止まりに対する万全な支援など8項目を要請書に盛り込んだ。

JA岐阜中央会の櫻井宏代表理事会長をはじめグループの代表者らが県庁を訪問。櫻井会長は「いずれも支援が必要な内容。県の農業施策で支援してほしい」と伝えた。

両者の求めに対し、江崎知事は「農業は国の根幹。国の予算をつまく活用して対応したい。今後も現場の声を聞かせてほしい」などと語った。(宮本寛)